

4. まちづくりの目標

本地区及び本地区周辺の課題を解決し、より魅力的な鶴ヶ峰駅周辺を目指して、まちづくりの目標を次のように設定します。

文化や水・緑を感じる豊かな環境に、
人が集い、快適に暮らし続けられるまち

◇まちの将来像

まちづくりの目標に基づき、本地区で目指すまちの将来像を、次のように設定します。

■テーマ①：拠点性、土地利用

◎ 広く人が集い・賑わい、暮らし続けられるまち

■テーマ②：道路、交通

◎ 誰もが安心して安全で、快適に移動できるまち

■テーマ③：文化、水・緑環境

◎ 豊かな水・緑に包まれ、文化を育み、ゆとりある時を過ごすことができるまち

◇まちづくりの基本方針

まちの将来像である3つの柱を実現するために、本地区で実施するまちづくりの基本方針を次のように設定します。

■テーマ①：拠点性、土地利用

○ 主要な生活拠点にふさわしい土地の高度利用と拠点機能づくり

■テーマ②：道路、交通

○ 駅前交通機能の改善・強化と、安心・安全で暮らしやすい空間整備

■テーマ③：文化、水・緑環境

○ 駅前周辺における文化活動の促進と水・緑環境空間の拡充

◇ まちのゾーニング

本地区周辺の土地利用の特性を考慮して、次のように『駅前拠点ゾーン』『沿道サービスゾーン』『周辺環境ゾーン』の3つのゾーンを設定します。

○ 駅前拠点ゾーン

バスターミナルや、商業、業務、住宅、公共・公益施設等が複合し、駅前の利便性を生かした土地利用を行うゾーン

○ 沿道サービスゾーン

水道道の沿道環境を生かした土地利用を行うゾーン

○ 周辺環境ゾーン

戸建てを中心とした住宅や緑道、公園、親水空間など、良好な住環境を形成するゾーン

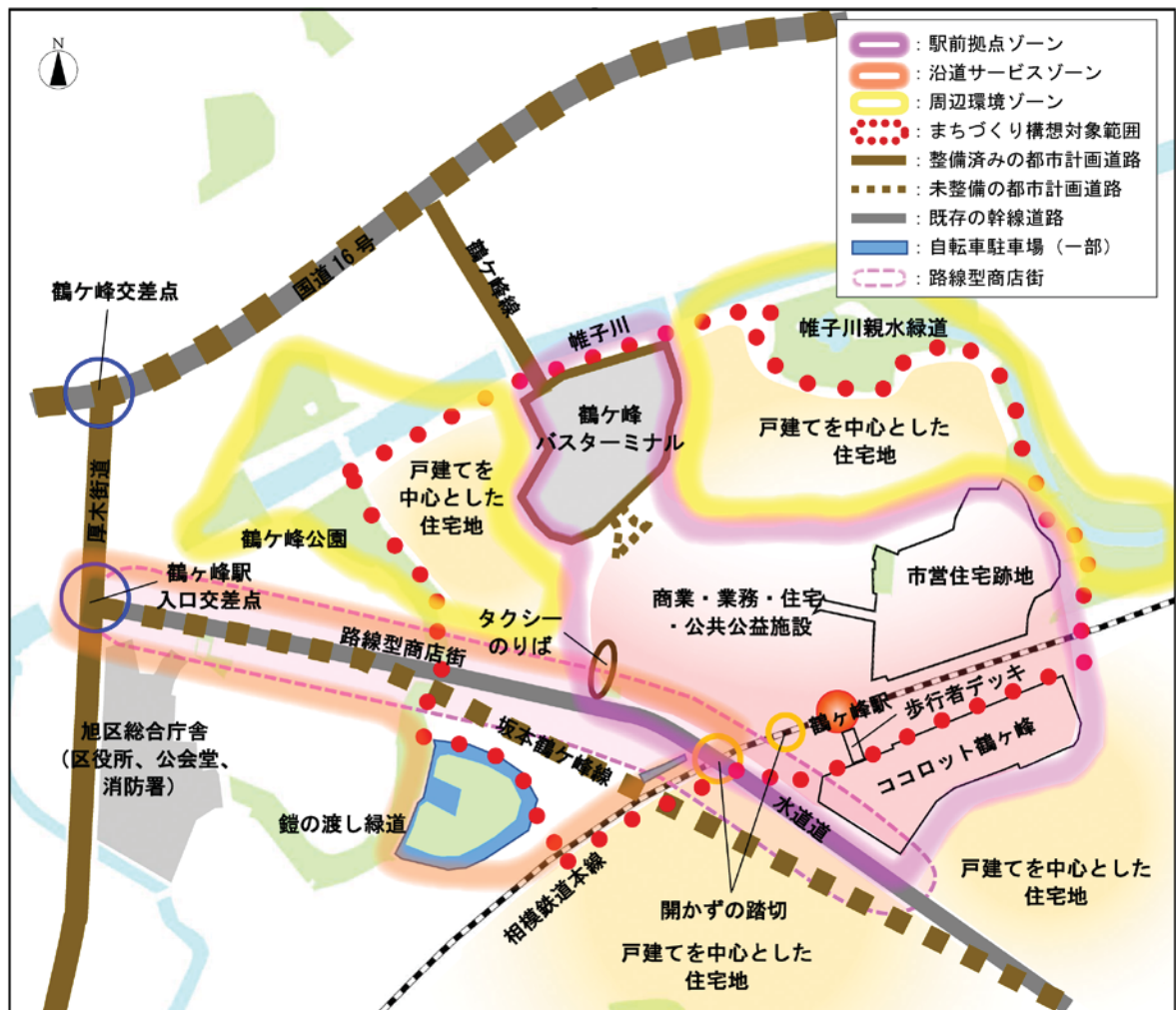


図 まちのゾーニング

※ 以後、3つのゾーン設定については、本構想の対象範囲内のみを表示します。